

(行政報告)

公共施設におけるEV充電インフラ設備の導入について

生活経済部

市では、令和5年6月、豊かな自然環境を未来に引き継ぎ、暮らしと社会を持続可能なものとしていくため、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「白岡市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

この宣言を実現するためには、公共部門の取組だけでなく、民間部門の取組が不可欠であり、市民の皆様が普段利用している自動車から排出される温室効果ガスについても削減が必要でございます。

このことから、走行時に温室効果ガスを排出しない電気自動車等の利用を促進するため、公共施設にEV充電インフラ設備の導入を進めております。

設備の設置箇所は、市役所、生涯学習センター〔こもれびの森〕、保健福祉総合センター（はびすしらおか）、中央公民館、コミュニティセンター、介護予防事業拠点施設いきいきさぼーと及びB＆G海洋センターの公共施設7か所でございます。令和6年度中に運用が開始される予定でございます。

なお、この事業は、市と「持続可能な地域づくりに関する協定」を結んでいるTERRA CHARGE（テラチャージ）株式会社が、経済産業省の「クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金」を活用して実施するものでございます。

市といたしましては、EV充電インフラ設備の運用開始に当たり、市公式ホームページ・SNS、広報しらおかなどを活用し、丁寧な周知に努めるとともに、今後もゼロカーボンシティの実現のため、様々な事業に取り組んでまいります。